

昔の遊びを体験

1月20日(火)、田辺第三小学校にて、学社融合推進事業「昔遊び会」が実施されました。当日は、1年生の児童が地域の方々から、こま回し・けん玉・めんこ・お手玉・あやとり・竹とんぼ・おはじきなどの遊びを教えてもらいながら、交流を深めました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



昔の暮らしを体験

2月6日(金)、田辺第三小学校にて、学社融合推進事業「昔の暮らし学習会」が実施されました。当日は、3年生の児童が地域の方々から、蓑・笠・石臼・囲炉裏・電話機・レコード・農機具など、昔の道具の説明を受けながら体験し、最後には七輪で火を起し、みりん干しを焼いて、みんなで食べました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



西部公民館だより

令和8年3月号

未来へつながる道
田辺市

【発行】西部公民館
【館長】藤堂 素子 【主事】小倉 拓
【事務所】田辺市東山一丁目5番1号(本庁舎5階)
【TEL】26-4908 【FAX】24-8323
【館区の人口と世帯数】(令和8年1月末現在)
4,613人(男2,107人・女2,506人) 2,714世帯

防災講演会のお知らせ



大地震がおこったら

～命を守り、被災後スムーズに過ごすために～女性の視点からも考える～

南海トラフ地震など巨大地震の発生確率が日々高くなり、いつ起こってもおかしくない状況です。発災時どんな状況になるのかを知り、命を守るためには、そして命が守られたあと、できる限りスムーズに過ごすためには、どんな準備が必要か、具体的なお話です。非常用携帯トイレの使い方も皆で体験します。避難所運営についてお話します。女性視点からの避難所の在り方のお話も。災害への備えを進めませんか。備えておくと、台風での停電や水道管老朽化による断水の時も役立ちます。

日時 令和8年3月26日(木) 午後7時30分～

場所 田辺市立西部センター 2階 集会室

駐車場 西部センター前広場、もとまち保育所、天神児童館前駐車場

主催 西部地区防災訓練実行委員会
【お問い合わせ】西部センター(事務局)0739-22-0693

入場
無料
定員60名

講師プロフィール

防災士 鹿毛 智子

田辺市生まれ。大阪教育大学卒業。社会福祉協議会の職員として地域づくりを進める中で、防災士資格を取得。地域での集まりや学校等で防災講座を行っている。2011年東日本大震災時には、介護職のボランティアを現地に繋ぐなど後方支援をし、同年台風12号災害時は災害ボランティアセンターの一員として関わる。災害に強いまちを目指し、未来を担う子ども達が、健やかに生き抜く力を身につけよう「地域ぐるみでの子育て」を特定非営利活動法人南紀こどもステーションの活動を通じて進めると共に、田辺市市民活動センターのセンター長として、市民活動が活発になるよう支援している。





田辺第三小学校「清心自立」2月号

チームワークと感謝

先日スポーツ雑誌を読んでいると、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックに出場する選手とスタッフの話が掲載されていました。そこには、選手の日々のたゆまぬ努力の積み重ねと同時に、選手を支えるスタッフの献身的な行動が紹介されていました。例えば、スピードスケートの選手のために、レース用スーツを調整するスタッフは、夜を徹して縫い直したり、スキーやスノーボードの板にワックスをかけるスタッフは、競技場を奔走し、雪の状態を見極めて、最も適したワックスをかけたりしているそうです。このように、見えないところでたくさんの人たちが選手を支えているからこそ、選手は思う存分力を発揮できるのだと思いました。そして、これらのことを通して、たとえ競技が個人種目であっても、チームで戦っていることを感じました。

これは、競技スポーツのことだけではなく、教育現場も同様です。子どもたちが自分のもっている力や可能性を思う存分発揮し、自分や仲間の思いの実現に向けて、豊かに学習や生活を送ることができるよう、様々な立場の人たちがチームになって支えているのです。このチームでは、それぞれができることに力を尽くすとともに、強いチームワークのもと、協力し合って取り組んでいます。私は、保護者や地域、幼稚園・保育所・中学校、関係機関や企業、学社融合推進協議会、西部子どもエンパワーメント支援事業推進委員会などの各皆様方は、「チーム田辺第三小」のかけがえのない大切なチームメイトだと強く思っています。学校は、今年度もたくさんのチームメイトの方々を支えられてきました。子どもたちの学習で多大なご支援をいただいた方々をはじめ、登下校時の安全確保、読み聞かせ、花壇への花植え、魚加工体験など、ご紹介しきれないくらい数多くの皆様方から、様々な場面で支えていただきました。学校だけではできないことを「チーム田辺第三小」として、どんなときもお力になってくださいました。学校はいつもこうしたたくさんの支えの中で歩んでいます。今、こうして「学校だより」を書きながら、お世話になった皆様方の顔が浮かんできます。とてもありがたく幸せなことだと思っています。そして、感謝の気持ちでいっぱいです。教育活動のみならず、私自身の生活においても、必ず誰かの支えがあることを忘れず、あらゆることに感謝の気持ちをもって行動したいと思っています。そして、子どもたちにも、常に感謝の心を忘れないことを伝えたいと思います。今年度も残り少なくなってまいりましたが、「チーム田辺第三小」の一員として努力したいと思います。

また、来月23日には、6年生27名が巣立っていきます。目の前の人から受けた行いに感謝するだけでなく、陰ながら支えてくれた方々の存在に気づき、感謝する心をもって卒業できるよう話したいと思います。



「自主・自律・連帯」3月号 ～旅立ちの春～

★第77回卒業証書授与式★ 令和8年3月6日(金)

校庭の木々の芽のふくらみにも、春の訪れが感じられる季節となりました。地域・保護者の皆さま方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

いよいよ、中学校では卒業の時を迎えました。義務教育を終えた71名は、自分で決めたそれぞれの道に進んでいきます。新しい場所で夢と希望を持って、充実した日々を送れることを願います。

◇2年生防災学習(1/19,23)

2年生は、和歌山県が作成した「きいちゃんの災害避難ゲーム」を活用して、防災学習に取り組みました。津波避難シミュレーションゲームでは、冬場の悪天候の早朝に南海トラフ地震が発生する想定のもと、地震・津波災害時に避難場所にたどり着くまでの課題を考えました。避難所運営シミュレーションゲームでは、避難所運営の担当になり、次々と発生する避難所内外の課題やトラブルに迅速に対応する活動をしました。2つのシミュレーションゲームに取り組んで、日常の備えの大切さを実感し、従事する内容や状況に応じて判断力を養う学びになりました。



◇花植えボランティア活動(1/28)

NPO法人 花つぼみのご協力を頂き、花植え作業を行いました。育友会行事として取り組み、保護者にもボランティアを募集しました。保護者、ボランティアを希望した生徒、バレーボール部、バスケットボール部、生徒会の生徒達も参加し、作業を行いました。



◇第77回県下書初会中央審査会

1年生は、国語科で書初に取り組み、次の2名が中央審査会に進み受賞しました。

[準特選] 小坂 心都 [入選] 山根 三奈

地域・保護者の皆さま方

本年度1年間ありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。

明洋中学校職員一同